

# 会 議 録

## 1 会議名

平成29年度第3回上越市青少年健全育成センター運営協議会

## 2 議事（公開・非公開の別）

### (1) 報告（公開）

- ① 平成29年度事業・活動報告
- ② 平成29年度街頭指導結果報告
- ③ 平成29年度小中学校「PTA一日街頭指導」実績報告
- ④ 平成29年度「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」・立入調査報告
- ⑤ 第67回“社会を明るくする運動”事業報告
- ⑥ 育成委員協議会委員アンケート調査のまとめ
- ⑦ 若者育成支援事業の進捗状況について
- ⑧ その他

### (2) 協議（公開）

- ① 平成30年度運営方針と事業計画（案）
- ② 青少年育成支援の具体的な方策（案）
- ③ その他

### (3) 情報交換（各機関・団体からの情報提供）（公開）

### (4) その他

## 3 開催日時

平成30年2月15日（木）午後2時から3時25分まで

## 4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟中会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：山岸喜一、熊倉 肇、井部佐恵子、渡邊長芳、山本条太郎、杉本正彦、  
小山貞榮、古川美也子、鈴木真理子、二ノ宮善明
- ・事務局：社会教育課 小林博幸副課長  
上越市青少年健全育成センター 八島幹雄所長、山崎光隆指導員

## 8 発言の内容（要旨）

### 《議 事》

#### (1) 報告（公開）

##### ① 平成29年度事業・活動報告

※事務局より説明（資料① P4～P7）

委 員：質疑なし

##### ② 平成29年度街頭指導結果報告

※事務局より説明（資料② P8～P13）

杉本委員：「街頭指導の結果」の表の下欄に、「有害掲示物撤去枚数」が全部0となっているが、どのような活動なのか。

事 務 局：以前、電話ボックスや電柱などに有害チラシが多く掲示されていたことがあった。青少年への悪影響を防ぐため、街頭指導にあわせて環境浄化に努めている。現在はまったく見られなくなった。

##### ③ 平成29年度小中学校「PTA一日街頭指導」実績報告

※事務局より説明（資料③ P14～P16）

委 員：質疑なし

##### ④ 平成29年度「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」・立入調査報告

※事務局より説明（資料④ P17・P18）

委 員：質疑なし

##### ⑤ 第67回“社会を明るくする運動”事業報告

※事務局より説明（資料⑤ P19）

渡辺委員：“社会を明るくする運動”作文コンテストの入賞者は、10月18日の保護司会厚生部の県大会が上越市で開催された折に、中学生が出席して表彰されたことを報告しておく。（小学生は出席できなかった。）

委 員：質疑なし

⑥ 育成委員協議会委員アンケート調査のまとめ

※事務局より説明（資料⑥ P20・P21）

委員：質疑なし

⑦ 若者育成支援事業の進捗状況について

※事務局より説明（資料⑦ P22～P24）

熊倉委員：今年度相談件数が増えたということだが、啓発活動との関係はあるのか。

事務局：義務教育後に相談できる場所があるということが伝わってきたものと考え  
る。啓発活動として、総合事務所や出張所へのチラシ設置、市のホームページや電話帳への掲載、民間団体への訪問などできることはやった。10  
月に中学校3年生全員にもチラシを配付した。今後も地道に啓発していきたい。

⑧ その他

委員：特になし

(2) 協議（公開）

① 平成30年度運営方針と事業計画（案）

※事務局より説明（資料⑧ P25・P26）

② 青少年育成支援の具体的な方策（案）

※事務局より説明（資料⑨ P27）

熊倉委員：若者支援活動の中で、相談活動は続けていくのか。

事務局：相談活動は支援活動の入口であり、充実させていく。その上で、若者が集  
まれる場所を設置し、支援を充実させていきたいということである。高校  
と連携しながら今まで以上に相談活動を充実させていきたい。

熊倉委員：今年度17件の相談ということである。高校でも相談月間等の取組に力を  
入れている。その中で相談窓口の紹介も行っている。県にも相談窓口はあ  
るし、上越市にも相談窓口ができるということで、チャンネルが増える。  
どこかに相談できる場所があるということはいいことだ。相談件数とい  
う問題もあるが、一人でも救えるという意味で継続してほしい。

事務局：補足説明をさせていただく。30年度は、ニート・ひきこもりに発展して  
いくことを防ぐ活動に焦点を絞って取り組みたい。高校生期及び卒業後2

5歳くらいまでに焦点を絞った取組を進める。具体的には、若者の居場所の開設と支援団体のネットワークづくりである。支援の場を広げ、一人でも救われるよう支援していきたい。

杉本委員：居場所の件について、高校生が来やすいということなどの理由から、以前は高田駅前という話もあったが、そこが使えなくなるということで教育プラザになるということか。

事務局：そういうことである。教育プラザは高校生が自力では来にくいという面はあるが、教育プラザで一つの形として開設してみて、今後より集まりやすい場所を見つけていきたい。情報提供のご協力をお願いしたい。

八島議長：平成30年度の青少年健全育成センターの運営方針及び事業計画（案）について承認していただけるか。

委員：全員承認

八島議長：委員の皆様から承認をいただいたので、平成30年度第1回運営協議会で再度提案し承認を得て進めてもらいたい。

### ③ その他

委員：特になし

#### (3) 情報交換（各機関・団体からの情報提供）（公開）

山本委員：上越警察署生活安全課から平成29年の上越署管内における青少年の状況についてお話しする。29年の青少年の補導数は46人で10人程度の減少となっている。中学生は増加、小学生・高校生は減少した。46人の内、20人程度が窃盗である。その中でも万引きが多い。4割が窃盗ということである。このまま減少してくれたらいい。今日お話ししたいのは、「インターネットトラブルからお子様を守るために」というチラシを配付させてもらったが、子ども達が性犯罪の被害者になっているという状況がある。SNSを使っただけの性被害にあうケースが出ている。その他、裸画像の強要や元彼からの脅迫などが起こっている。子ども達の間でスマートフォンが広がっていることから、今後被害に遭うことが心配される。指導委員の皆様には、街頭指導の折などに指導をお願いしたい。

二ノ宮委員：今裸の写真の話があったが、写真の加工も簡単にできる。そのことも知

っておく必要がある。

杉本委員：私は市の安全メールに入っている。防犯上からも市の安全メールに出来るだけ多くの人から入ってもらいたい。12月からの防犯上のメールを調べてみると7～8件ほど入っている。メールを見て注意喚起したり、対応していくことも一つの方策である。学校関係では、メールを使って保護者に情報を伝えているところもある。良い活用方法だと思う。

二ノ宮委員：インターネットの学習会が多く開かれている。その多くは保護者と子どもが別々に行われている。子どもの方が知識、技術とも大人より進んでいる。私は、保護者、子どもが別々では意味がないと思う。様々な学習会を計画するとき一緒に学習会となるよう進めてもらいたい。

古川委員：来年度8月24日・25日に日本PTA全国研究大会が新潟県で開催される。その第1分科会が24日に上越文化会館で行われる。内容についてはまだ発表できる段階ではないが、決まり次第お知らせする。

#### (4) その他

委員：特になし

事務局：運営協議会委員の皆様の任期が5月31日で満了となる。今後、団体からの推薦委員は、推薦母体に新たな委員の推薦をお願いしていく。公募委員は現在公募中である。委員の皆様には今後とも協力をいただきたい。

#### 9 問合せ先

上越市青少年健全育成センター TEL：025-544-4690

#### 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。